

ロジクロス名古屋みなと

Logicross NAGOYA MINATO

No. 21-039-2025作成

新築
工場・物流施設

発注者	名古屋みなとデベロップメント特定目的会社	カテゴリー	
設計・監理	フクダ・アンド・パートナーズ一級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術
	株式会社フジター一級建築士事務所	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
施工	株式会社フジタ名古屋支店	E. リニューアル	F. 長寿命化
		G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性
		K. その他	

環境に配慮した 中部地方の物流拠点

計画概要・コンセプト

ロジクロス名古屋みなとは、三菱地所株式会社が開発する、地上4階建て、延床面積約125,000㎡の大型物流施設である。本施設は、名古屋市を通る陸上交通路の大動脈である国道23号線に近接し、さらに名古屋高速や東名高速道路へ接続する伊勢湾岸自動車道へのアクセスにも優れており、物流施設として最適な立地にある。

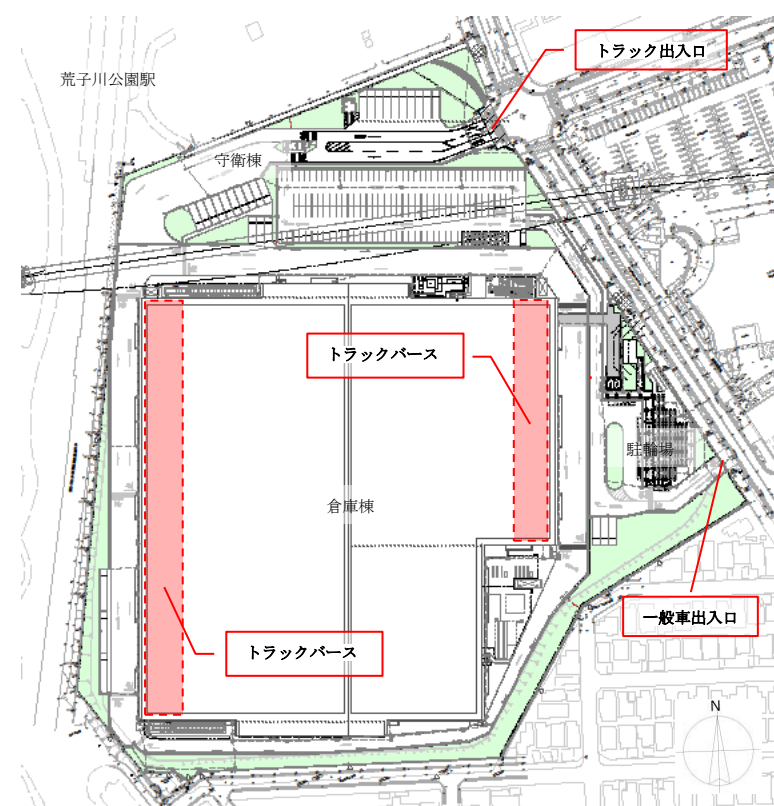
本施設の計画にあたり次の取組みを行っている。

- ①環境に配慮した施設づくり
- ②地域に配慮した配置計画

本施設は、CASBEE認証Sランク(BEE値4.0)、BELS★★★★★★、ZEB認証「ZEB」を取得した施設となっている。



外観



ロジクロス名古屋みなと全体配置図

建物概要

本施設は、倉庫棟への搬出入用トラックと一般車の敷地出入口を分離し、一般車や自転車置場は倉庫棟周りのセキュリティフェンス外に設けることでセキュリティ計画に配慮した配置計画としている。

倉庫棟は1フロア約31,000㎡の倉庫スペースを有するBOX型倉庫である。トラックバースは1階の東西に計52台分を確保し、上階への荷物搬送は荷物用エレベーターやマテハン機器を用いて行う計画である。また、事務所スペースを2階に集約する事で1階のトラックバースや倉庫スペースを広く確保できるだけでなく、災害時の津波避難場所として2階を活用できる計画となっている。

①環境に配慮した施設づくり

【二重折板屋根・断熱サンドイッチパネル・複層Low-Eガラス】
屋根には二重折板屋根、外壁には断熱性の優れたt75耐火金属断熱パネル、ガラス面は全て複層Low-Eガラスを採用し、熱負荷、LCCO2を軽減(全館空調対応)した計画としている。

【低炭素コンクリート・電炉材】
製造過程で二酸化炭素排出量が削減できる、低炭素コンクリート及び鉄骨・鉄筋の電炉材を採用した計画としている。

【太陽光発電】
大面積の倉庫棟屋根面だけでなく、南面に面した外壁面、及び付属棟屋根にも太陽光パネルを設置できる計画としている。

【省エネ設備機器】
照明設備にはLED照明、人感センサー、昼光センサーを採用し、空調設備の負荷削減の為に高効率型パッケージエアコンを導入するなど、省エネ設備機器を積極的に採用し、環境負荷の低減に努めた計画としている。

【雨水再利用】
施設内に地下ピットを設け、降雨時の雨水を集めて施設内のトイレや緑地灌水に利用する事で水資源保護に配慮した計画としている。

【地中熱利用】
地表からおおよそ地下100mの深さまで国内最大規模である200本の地中熱交換器を埋設。安定した熱エネルギーを地中から取り出し、倉庫内1階の空調設備に利用する地中熱利用空調システムを導入。本システムの導入によって、空調設備にかかる電力使用量を抑制することで二酸化炭素排出量を削減した計画としている。

【既存植栽利用】
敷地周囲の緑地は既存植栽を利用した計画としている。

②地域に配慮した配置計画

【アメニティ空間の開放・最寄り駅への動線開放】
敷地の一部を、最寄り駅からの歩行者用通路やアメニティスペースとして一般に開放し、地域住民の生活利便性に配慮した計画としている。

【津波避難ビルの指定】
名古屋市より津波避難ビルの指定を受け、津波発生の際には2階事務所エリアを地域住民の方に一時的な避難場所として活用できる施設としている。

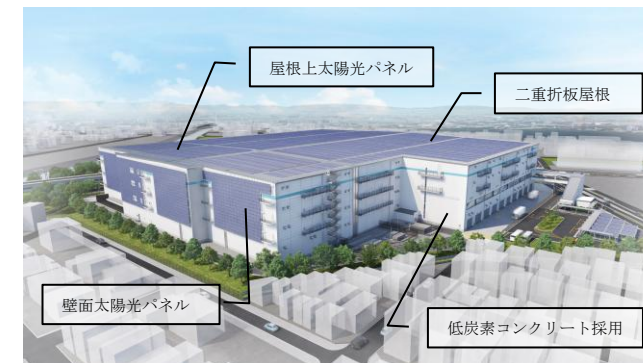


設計担当者

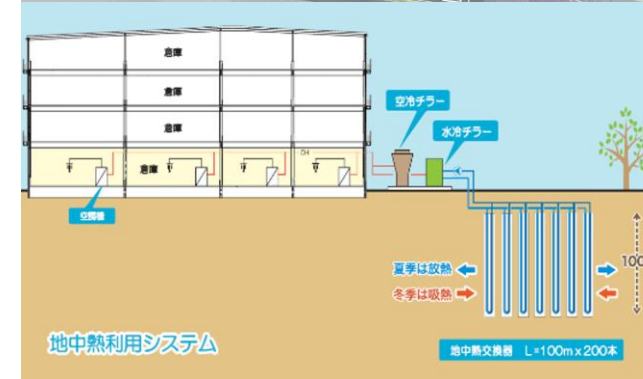
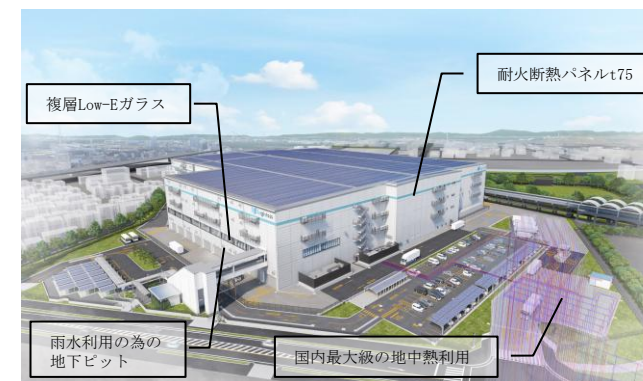
建築：千石達也(FP)、岡田宏章(FP)、伊藤麻也(F)、榎原康太(F)
構造：加奈森聡(F)、吉田悠人(F)、設備：三木宏彦(FP)、平山誠(F)、中平雄大(F)
(FP)：フクダ・アンド・パートナーズ一級建築士事務所
(F)：株式会社フジター一級建築士事務所

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2.2. 耐用性・信頼性 (耐火断熱サンドイッチパネル)
- Q3.3. 地域性・アメニティへの配慮 (空間提供、津波避難ビル)
- LR1.1. 建物外皮の熱負荷抑制 (耐火断熱サンドイッチパネル、ダブル折板屋根、複層Low-Eガラス)
- LR1.2. 自然エネルギー利用 (太陽光発電、地中熱利用)
- LR1.3. 設備システムの高効率化 (雨水利用、省エネ設備機器)
- LR2.2. 非再生性資源の使用量削減 (躯体のPC化、リサイクル材、低炭素コンクリート)



環境配慮イメージ



地中熱利用システム



アメニティ空間

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価	
所在地	BPI	Sランク	
竣工年	BEI (再エネあり)	BEE=4.0	
敷地面積	BEI (再エネなし)	2021年度版	
延床面積	BELS ★★★★★★	第三者認証	
構造	ZEB認証「ZEB」		
階数			